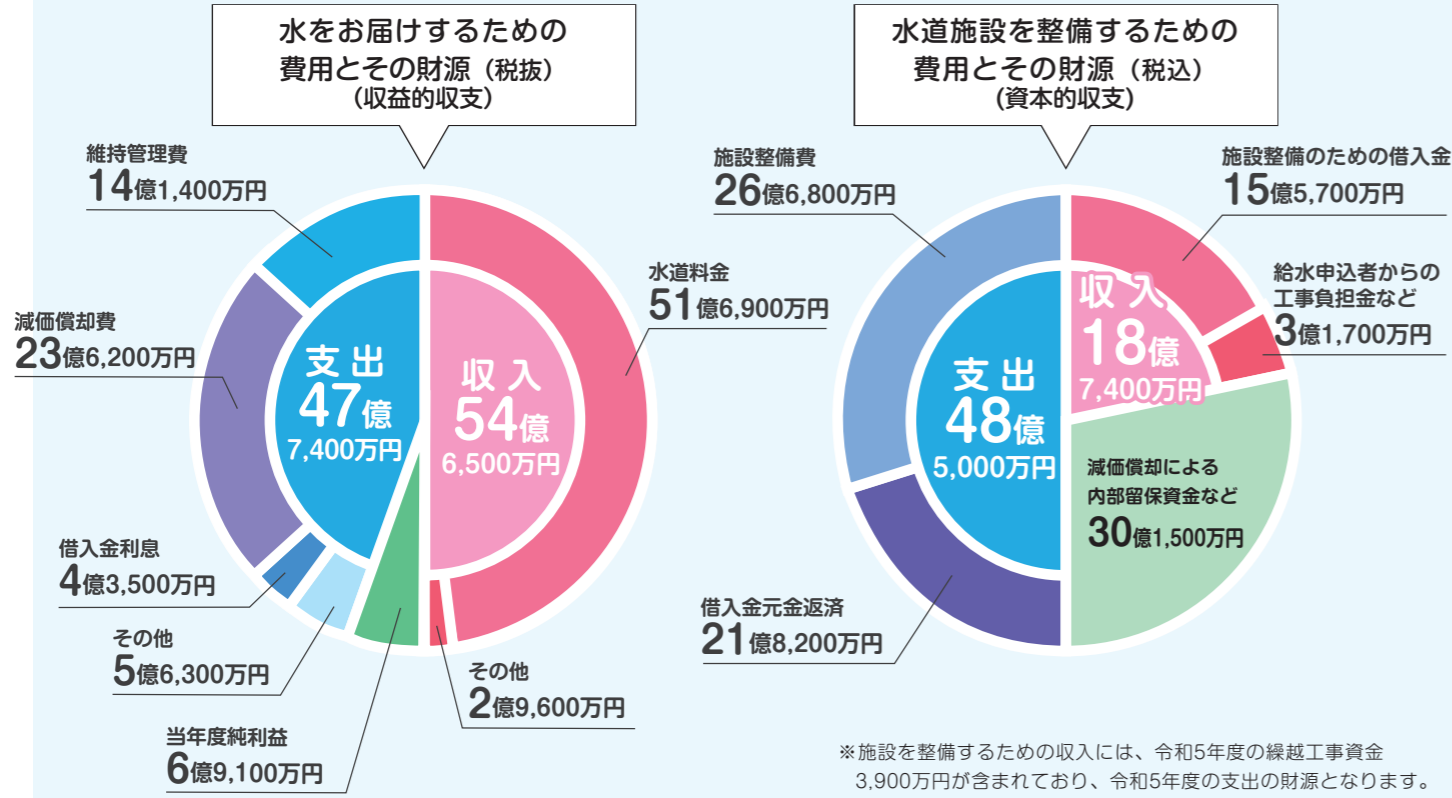
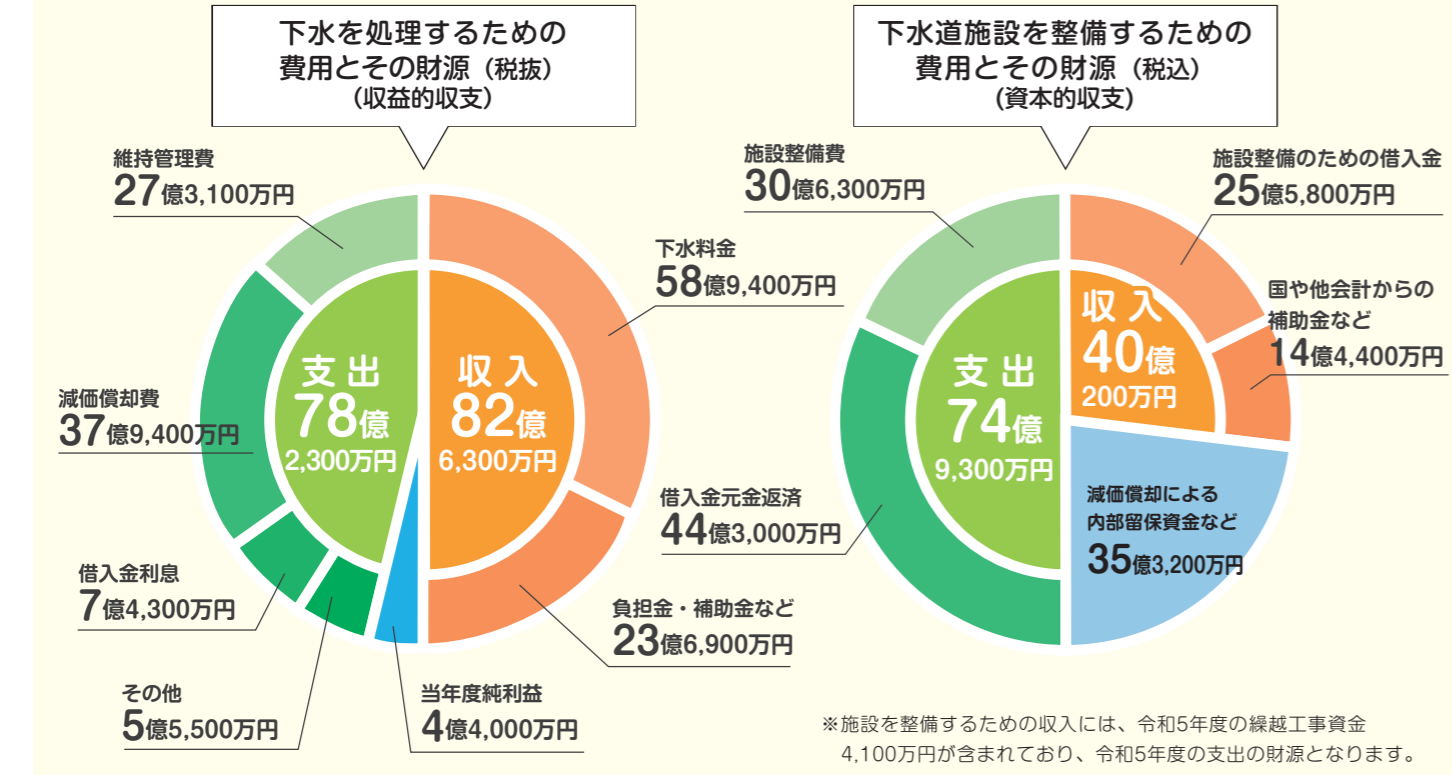


# 令和4年度 決算のご報告

## 水道事業会計



## 下水道事業会計



## 令和4年度 上下水道事業決算より

# 安全・安心・快適な生活を支えるため 主要事業についての紹介

### 本荘配水池の耐震補強工事

本荘水源地は、2つの配水池に建築物が付随した複合的な構造のコンクリート造りの建物です。耐震診断の結果、配水池部分が耐震強度不足だったため、耐震化します。令和4年度は東側配水池の耐震補強工事を実施しました。

東側配水池（耐震済）

決算額 9,810万円

### 鏡岩水源地管理棟の改築工事

令和3年度より実施している鏡岩水源地管理棟の改築工事について、令和4年度も引き続き新管理棟の建築工事を実施しました。

鏡岩水源地新管理棟（工事中）

決算額 6,810万円

### 水道管の更新

水道水の安定供給を続けていくため、老朽化した水道管を計画的に更新し、災害に耐えうる水道管網を作っています。

◆実施箇所  
鏡岩配水幹線など…約22km(全て耐震管)

鏡岩配水幹線布設工事の様子

決算額 18億5,590万円

### 方県加圧施設の建設工事

老朽化する施設の増加や水需要の減少に対応した適正な施設規模による水道事業を運営していくため、水源地の統廃合を進めています。統廃合の一環として、比較的規模の小さい方県配水区域と佐野配水区域を雄総水源地の配水区域に統合し、老朽化し耐震性のない既設の方県水源地と石谷加圧施設の機能を集約した方県加圧施設を新設します。令和4年度は施設建設のための用地買収と設計を実施しました。

方県加圧施設建設予定地（赤線）

決算額 3,720万円

### 下水道管の更新

長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進行状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行った上で作成した「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、老朽化した下水道管を災害に強い管に更新しています。

◆実施箇所  
中部処理区…約3.0km

管更生工法とは…  
既設の管の内面に樹脂等で新しく管を形成する工法で、道路を掘って管を入れ替える工事よりも短期間で、費用も安く施工できるメリットがあります。

管更生工法による工事前の下水道管

管更生工法による工事後の下水道管

決算額 4億5,750万円

### 雨水排水路の整備

市街地の浸水被害を軽減するため、排水路の整備を行っています。

◆実施箇所  
千石今泉排水路など…274mの区間

千石今泉排水路築造工事の様子

決算額 3億4,290万円

### 下水道施設・設備の改築・更新

下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した下水処理場等の改築、更新を行っています。

◆実施箇所  
南部プラントの受変電・自家発電設備の改築など

南部プラント受変電・自家発電設備

決算額 14億7,770万円